



201

保 医 第 69 号
平成 26 年 4 月 11 日

那覇市長
関係医療機関長
関係団体長
病院事業局県立病院課長

殿

沖縄県保健医療部長
(公 印 省 略)

「大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例について」の一部改正に係る周知について

平成 26 年 3 月 31 日付け医政発第 0331 第 37 号にて厚生労働省医政局長から別添のとおり通知がありますので、送付いたします。

各機関におかれましては、改正の内容について御了知いただきますようよろしくお願いいたします。

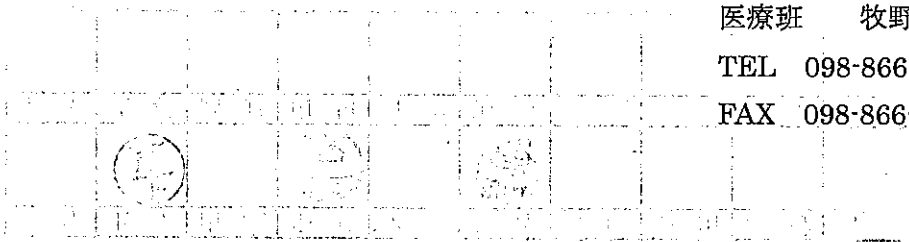
担当

沖縄県保健医療部保健医療政策課

医療班 牧野

TEL 098-866-2169

FAX 098-866-2714

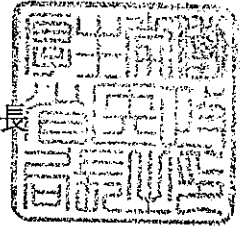


医政発 0331 第 37 号

平成 26 年 3 月 31 日

各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長



「大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例について」
の一部改正について

大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の指定の申請手続等については、「大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例について」(平成15年7月28日医政発第0728001号)により、各都道府県知事あてに通知しているところであるが、今般、別添のとおりその一部を改正し、平成26年4月1日より適用することとしたので、貴職におかれても、改正の内容について御了知の上、貴管内の保健所設置市、特別区、医療機関、関係団体等に対して周知方願いたい。



医政発第 0728001 号

平成 15 年 7 月 28 日

(一部改正 平成 17 年 2 月 8 日

平成 19 年 3 月 30 日

平成 20 年 3 月 26 日

平成 21 年 6 月 16 日

平成 22 年 4 月 14 日

平成 23 年 3 月 24 日

平成 26 年 3 月 31 日)

各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長

大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例について

「医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令」(平成 14 年厚生労働省令第 158 号)の施行については、「医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」(平成 15 年 6 月 12 日付け医政発第 0612004 号。以下「施行通知」という。)により通知したところであるが、大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例については、下記のとおりとするので、貴職におかれては、御了知の上、貴管内の保健所設置市、特別区、医療機関、関係団体等に対して周知に努められたい。

なお、各国公私立医科大学(医学部)附属病院長に対しては、別途「臨床研修を行う大学病院からの情報提供に関する依頼について」(平成 15 年 7 月 28 日付け医政発第 0728002 号。以下「依頼通知」という。)により、当該病院において行われる臨床研修に関する情報提供をお願いしている。また、本通知については文部科学省高等教育局と協議済みであることを、念のため申し添える。

記

第1 用語の定義

本通知で用いる用語のうち、次に定めるもの以外については、施行通知によること。

1 「基幹型相当大学病院」

大学病院のうち、他の病院又は診療所と共同して臨床研修を行う病院であって、当該臨床研修の全体的な管理・責任を有するものをいうものであること。

2 「協力型相当大学病院」

大学病院のうち、他の病院と共同して臨床研修を行う病院であって、基幹型相当大学病院でないものをいうものであること。

第2 大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の指定の申請

1 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の指定の申請

(1) 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行うことにより基幹型臨床研修病院の指定を受けようとする病院の開設者は、臨床研修を開始しようとする年度の前年度の6月30日までに、当該病院に関する指定申請書（施行通知の様式1）を厚生労働大臣に提出しなければならないこと。

(2) 指定申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならないこと。

ア 当該指定に係るすべての研修プログラム

イ プログラム責任者履歴書（施行通知の様式2）

ウ 当該病院の研修医名簿（施行通知の様式3）

エ 当該指定に係る臨床研修病院群を構成することとなる病院及び大学病院相互間の連携体制を記載した書類（様式1）

オ 共同して臨床研修を行うこととなる協力型相当大学病院の大学病院概況表（様式2）及び大学病院承諾書（様式3）

カ 臨床研修協力施設と共同して臨床研修を行おうとする場合にあつては、臨床研修協力施設の臨床研修協力施設概況表（施行通知の様式4）及び臨床研修協力施設承諾書（施行通知の様式5）

(3) 協力型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表（様式2）及び大学病院承諾書（様式3）を作成し、基幹型臨床研修病院の開設

者に送付するようお願いしていること。

- (4) 基幹型臨床研修病院の指定を受けようとする病院の開設者は、当該病院に関する指定申請書及び添付書類と、協力型臨床研修病院に関する指定申請書及び添付書類とを一括して当該病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付すること。

2 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の指定の申請

- (1) 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行うことにより協力型臨床研修病院の指定を受けようとする病院の開設者は、臨床研修を開始しようとする年度の前年度の6月30日までに、当該病院に関する指定申請書（施行通知の様式1）を、基幹型相当大学病院の管理者を経由して厚生労働大臣に提出しなければならないこと。ただし、基幹型相当大学病院の管理者を経由できない場合にあつては、当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課に相談すること。

- (2) 指定申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならないこと。

ア 当該指定に係るすべての研修プログラム

イ プログラム責任者履歴書（施行通知の様式2）

ウ 当該指定に係る臨床研修病院群を構成することとなる病院及び大学病院相互間の連携体制を記載した書類（様式1）

エ 共同して臨床研修を行うこととなる基幹型相当大学病院の大学病院概況表（様式2）及び大学病院承諾書（様式3）

オ 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行おうとする場合にあつては、協力型相当大学病院の大学病院概況表（様式2）及び大学病院承諾書（様式3）

カ 臨床研修協力施設と共同して臨床研修を行おうとする場合にあつては、臨床研修協力施設の臨床研修協力施設概況表（施行通知の様式4）及び臨床研修協力施設承諾書（施行通知の様式5）

- (3) 基幹型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表（様式2）及び大学病院承諾書（様式3）を作成するようお願いしていること。

- (4) 協力型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表（様式2）及び大学病院承諾書（様式3）を作成し、基幹型相当大学病院の管理者に送付するようお願いしていること。

- (5) 基幹型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、共同して臨床研修を行

うこととなる協力型臨床研修病院の指定申請書及び添付書類を取りまとめて、一括して当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付するようお願いしていること。この場合において、複数の協力型臨床研修病院の(2)アからカまでの添付書類が重複するときは、1部を残して他を省略しても差し支えないこと。

第3 大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の指定の基準

1 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の指定の基準

協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行うことにより基幹型臨床研修病院の指定を受けようとする者に対する施行通知の5(1)の臨床研修病院の指定の基準の適用については、当該大学病院を協力型臨床研修病院の指定を受けようとする者と見なすこと。

2 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の指定の基準

基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行うことにより協力型臨床研修病院の指定を受けようとする者に対する施行通知の5(2)の臨床研修病院の指定の基準の適用については、当該大学病院を基幹型臨床研修病院の指定を受けようとする者と見なすこと。

また、この場合において、併せて協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行おうとするときは、当該協力型相当大学病院を協力型臨床研修病院の指定を受けようとする者と見なすこと。

第4 大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の変更の届出

1 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の変更の届出

(1) 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の開設者は、次に掲げる事項(クに掲げる事項を除く。)に変更が生じたときは、臨床研修病院変更届出書(施行通知の様式7)をもって、また、クに掲げる事項に変更が生じたときは、大学病院変更届出書(様式4)をもって、その日から起算して1月以内に、その旨を厚生労働大臣に届け出なければならないこと。

ア 開設者の氏名及び住所(法人にあつては、名称及び主たる事務所の所在地)

イ 管理者の氏名

ウ 名称

エ 診療科名

オ プログラム責任者

カ 指導医及びその担当分野

キ 研修医の処遇に関する事項

ク 協力型相当大学病院に係る次に掲げる事項

(ア) 開設者の氏名及び住所（法人にあつては、名称及び主たる事務所の所在地）

(イ) 管理者の氏名

(ウ) 名称

(エ) 診療科名

(オ) プログラム責任者

(カ) 研修医の処遇に関する事項

ケ 臨床研修協力施設と共同して臨床研修を行う場合にあつては、当該臨床研修協力施設に係る次に掲げる事項

(ア) 開設者の氏名及び住所（法人にあつては、名称及び主たる事務所の所在地）

(イ) 管理者の氏名

(ウ) 名称

(エ) 研修医の処遇に関する事項

(オ) 研修医の指導を行う者及びその担当分野

(カ) 臨床研修協力施設が医療機関である場合にあつては診療科名

(2) 協力型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、(1)クに掲げる事項に変更が生じたときは、その旨の大学病院変更届出書（様式4）を作成し、基幹型臨床研修病院の開設者に送付するようお願いしていること。

(3) 基幹型臨床研修病院の開設者は、臨床研修病院変更届出書又は大学病院変更届出書を当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付すること。

(4) 共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院から臨床研修病院変更届出書の送付を受け、又は共同して臨床研修を行う協力型相当大学病院から大学病院変更届出書の送付を受けた基幹型臨床研修病院の開設者は、速やかに当該臨床研修変更届出書又は当該大学病院変更届出書を当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付すること。

2 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の変更の届出

(1) 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の開設者は、アからキまでに掲げる事項に変更が生じたときは、臨床研修病院変更届出書（施行通知

の様式7)をもって、また、クからコまでに掲げる事項に変更が生じたときは、大学病院変更届出書(様式4)をもって、その日から起算して1月以内に、その旨を共同して臨床研修を行う基幹型相当大学病院の管理者を経由して厚生労働大臣に届け出なければならないこと。ただし、ク又はコに掲げる事項に変更が生じた場合において、基幹型相当大学病院の管理者が送付した大学病院変更届出書(様式4)が当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課に到達したときは、また、コに掲げる事項に変更が生じた場合において、協力型相当大学病院の管理者が送付した大学病院変更届出書(様式4)が基幹型相当大学病院の管理者を経由して当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課に到達したときは、それぞれ協力型臨床研修病院の開設者がその旨を届け出たものとみなすこと。

また、協力型臨床研修病院の開設者は、届出に当たって基幹型相当大学病院の管理者を経由できない場合にあつては、当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課に相談すること。

さらに、協力型臨床研修病院においては、アからキまでに掲げる事項に変更が生じると考えられる場合は、事前に基幹型相当大学病院に相談すること。

ア 開設者の氏名及び住所(法人にあつては、名称及び主たる事務所の所在地)

イ 管理者の氏名

ウ 名称

エ 診療科名

オ プログラム責任者

カ 指導医及びその担当分野

キ 研修医の処遇に関する事項

ク 基幹型相当大学病院に係る次に掲げる事項

(ア) 開設者の氏名及び住所(法人にあつては、名称及び主たる事務所の所在地)

(イ) 管理者の氏名

(ウ) 名称

(エ) 診療科名

(オ) プログラム責任者

(カ) 研修医の処遇に関する事項

ケ 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う場合にあつては、当該協力型相当

大学病院に係る次に掲げる事項

- (ア) 開設者の氏名及び住所（法人にあっては、名称及び主たる事務所の所在地）
- (イ) 管理者の氏名
- (ウ) 名称
- (エ) 診療科名
- (オ) プログラム責任者
- (カ) 研修医の処遇に関する事項

コ 臨床研修協力施設と共同して臨床研修を行う場合にあっては、当該臨床研修協力施設に係る次に掲げる事項

- (ア) 開設者の氏名及び住所（法人にあっては、名称及び主たる事務所の所在地）
- (イ) 管理者の氏名
- (ウ) 名称
- (エ) 研修医の処遇に関する事項
- (オ) 研修医の指導を行う者及びその担当分野
- (カ) 臨床研修協力施設が医療機関である場合にあっては診療科名

(2) 基幹型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、(1)ク又はコに掲げる事項に変更が生じたときは、その旨の大学病院変更届出書（様式4）を作成し、当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付するようお願いしていること。

(3) 協力型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、(1)ケに掲げる事項に変更が生じたときは、その旨の大学病院変更届出書（様式4）を作成し、基幹型相当大学病院の管理者に送付するようお願いしていること。また、依頼通知により、協力型相当大学病院においては、(1)ケに掲げる事項に変更が生じると考えられる場合は、事前に基幹型相当大学病院に相談するようお願いしていること。

(4) 共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院から臨床研修病院変更届出書の送付を受け、又は共同して臨床研修を行う協力型相当大学病院から大学病院変更届出書の送付を受けた基幹型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、速やかに当該臨床研修病院変更届出書又は大学病院変更届出書を当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付するようお願いしていること。

第5 大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の研修プログラムの変更又は新設の

届出

1 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の研修プログラムの変更又は新設の届出

(1) 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の開設者は、研修プログラムを変更する場合又は新たに研修プログラムを設ける場合には、当該研修プログラムに基づく臨床研修を行おうとする年度の前年度の4月30日までに、当該研修プログラムに関し、次に掲げる書類を添えて研修プログラム変更・新設届出書(施行通知の様式8)を厚生労働大臣に提出しなければならないこと。

ア 変更又は新設に係る研修プログラム(研修プログラムの変更の場合にあっては、変更前及び変更後の研修プログラム)

イ 研修プログラムの変更の場合にあっては、変更する箇所を記載した書類(変更部分に下線を付した変更前及び変更後の研修プログラムでも差し支えない。)

ウ 臨床研修病院群を構成する病院及び大学病院相互間の連携体制を記載した書類(様式1)

エ 協力型相当大学病院の大学病院概況表(変更等記載用)(様式5)

オ 協力型相当大学病院の構成に変化がある場合にあっては、新たに基幹型臨床研修病院と共同して臨床研修を行う協力型相当大学病院の大学病院承諾書(様式3)

(2) 協力型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表(変更等記載用)(様式5)を作成し、また、新たに基幹型臨床研修病院と共同して臨床研修を行う協力型相当大学病院においては当該病院の大学病院概況表(変更等記載用)(様式5)及び大学病院承諾書(様式3)を作成し、基幹型臨床研修病院の開設者に送付するようお願いしていること。

(3) 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の開設者は、当該病院に関する研修プログラム変更・新設届出書及び添付書類と、共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院に関する研修プログラム変更・新設届出書とを、一括して当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付すること。

2 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の研修プログラムの変更又は新設の届出

(1) 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の開設者は、研

修プログラムを変更する場合又は新たに研修プログラムを設ける場合には、当該研修プログラムに基づく臨床研修を行おうとする年度の前年度の4月30日までに、当該研修プログラムに関し、次に掲げる書類を添えて研修プログラム変更・新設届出書(施行通知の様式8)を、共同して臨床研修を行う基幹型相当大学病院の管理者を経由して厚生労働大臣に提出しなければならないこと。ただし、基幹型相当大学病院の管理者を経由できない場合にあっては、当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課に相談すること。

ア 変更又は新設に係る研修プログラム(研修プログラムの変更の場合にあっては、変更前及び変更後の研修プログラム)

イ 研修プログラムの変更の場合にあっては、変更する箇所を記載した書類(変更部分に下線を付した変更前及び変更後の研修プログラムでも差し支えない。)

ウ 臨床研修病院群を構成する病院及び大学病院相互間の連携体制を記載した書類(様式1)

エ 基幹型相当大学病院及び協力型相当大学病院の大学病院概況表(変更等記載用)(様式5)

オ 協力型相当大学病院の構成に変化がある場合にあっては、新たに基幹型臨床研修病院と共同して臨床研修を行う協力型相当大学病院の大学病院承諾書(様式3)

(2) 協力型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表(変更等記載用)(様式5)を作成し、また、新たに基幹型臨床研修病院と共同して臨床研修を行う協力型相当大学病院においては当該病院の大学病院概況表(変更等記載用)(様式5)及び大学病院承諾書(様式3)を作成し、基幹型相当大学病院の管理者に送付するようお願いしていること。

(3) 基幹型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表(変更等記載用)(様式5)を作成し、共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の研修プログラム変更・新設届出書及び添付書類を取りまとめて、一括して当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付するようお願いしていること。この場合において、複数の協力型臨床研修病院の添付書類が重複するときは、1部を残して他を省略しても差し支えないこと。

3 現に研修医を受け入れている臨床研修病院は、当該研修医が研修を修了し、又は中断するまでの間、当該研修医が受ける臨床研修に係る研修プログラムの変更をしてはなら

ないこと。

- 4 3にかかわらず、やむを得ない場合にあっては、研修プログラムの変更を行うことも認められること。この場合において、臨床研修病院の開設者は、速やかに、1又は2の届出を行わなければならないこと。また、臨床研修病院と共同して臨床研修を行う大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、速やかに、1又は2の情報提供を行うようお願いしていること。

第6 大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の年次報告

1 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の年次報告

- (1) 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の開設者は、毎年4月30日までに、当該病院に関する年次報告書（施行通知の様式8）に、協力型相当大学病院に係る大学病院概況表（変更等記載用）（様式5）を添えて、これを厚生労働大臣に提出しなければならないこと。また、臨床研修協力施設と共同して臨床研修を行う場合にあっては、臨床研修協力施設概況表（施行通知の様式9）を添付すること。
- (2) 協力型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表（変更等記載用）（様式5）を作成し、基幹型臨床研修病院の開設者に送付するようお願いしていること。
- (3) 協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う基幹型臨床研修病院の開設者は、当該病院に関する年次報告書及び添付書類と、共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院に関する年次報告書とを、一括して当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付すること。

2 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の年次報告

- (1) 基幹型相当大学病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の開設者は、毎年4月30日までに、当該病院に関する年次報告書（施行通知の様式8）に、基幹型相当大学病院及び協力型相当大学病院に係る大学病院概況表（変更等記載用）（様式5）を添えて、基幹型相当大学病院の管理者を経由して、厚生労働大臣に提出しなければならないこと。ただし、基幹型相当大学病院の管理者を経由できない場合にあっては、当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課に相談すること。また、臨床研修協力施設と共同して臨床研修を行う場合にあっては、臨床研修協力施設概況表（施行通知の様式9）を添付すること。

- (2) 基幹型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表（変更等記載用）（様式5）を作成するようお願いしていること。
- (3) 協力型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、当該病院の大学病院概況表（変更等記載用）（様式5）を作成し、基幹型相当大学病院の管理者に送付するようお願いしていること。
- (4) 基幹型相当大学病院の管理者に対しては、依頼通知により、共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院の年次報告書及び添付書類を取りまとめて、一括して当該基幹型相当大学病院の所在地を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付するようお願いしていること。この場合において、複数の協力型臨床研修病院の添付書類が重複するときは、1部を残して他を省略しても差し支えないこと。

第7 大学病院のみで共同して臨床研修を行う大学病院からの情報提供

大学病院のみで共同して臨床研修を行う大学病院の管理者に対しても、依頼通知により、当該病院において行われている臨床研修に関して厚生労働省への情報提供を行うようお願いしていること。

第8 文部科学省との連携

基幹型相当大学病院又は協力型相当大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院からの指定の申請、変更の届出、研修プログラムの変更若しくは新設の届出若しくは年次報告又は大学病院からの情報提供がなされた場合には、厚生労働省医政局医事課から文部科学省高等教育局医学教育課に対して、その旨の情報提供を行うこととしていること。

「大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例について」の一部改正に係る新旧対照表

新	旧
<p style="text-align: center;">医政発第 0728001 号 平成 15 年 7 月 28 日 (一部改正 平成 17 年 2 月 8 日 平成 19 年 3 月 30 日 平成 20 年 3 月 26 日 平成 21 年 6 月 16 日 平成 22 年 4 月 14 日 平成 23 年 3 月 24 日 <u>平成 26 年 3 月 31 日</u>)</p>	<p style="text-align: center;">医政発第 0728001 号 平成 15 年 7 月 28 日 (一部改正 平成 17 年 2 月 8 日 平成 19 年 3 月 30 日 平成 20 年 3 月 26 日 平成 21 年 6 月 16 日 平成 22 年 4 月 14 日 平成 23 年 3 月 24 日)</p>
<p>各都道府県知事 殿</p>	<p>各都道府県知事 殿</p>
<p style="text-align: center;">厚生労働省医政局長</p>	<p style="text-align: center;">厚生労働省医政局長</p>
<p style="text-align: center;">大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例について (略)</p>	<p style="text-align: center;">大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例について (略)</p>
<p>第 1 用語の定義 本通知で用いる用語のうち、次に定めるもの以外については、施行通知によること。 1 「基幹型相当大学病院」 大学病院のうち、他の病院又は診療所と共同して臨床研修を行う病院であって、当該臨床研修の<u>全体的な管理・責任を有するもの</u>をいうものであること。 2 (略) 第 2～第 8 (略)</p>	<p>第 1 用語の定義 本通知で用いる用語のうち、次に定めるもの以外については、施行通知によること。 1 「基幹型相当大学病院」 大学病院のうち、他の病院又は診療所と共同して臨床研修を行う病院であって、当該臨床研修の<u>管理を行うもの</u>をいうものであること。 2 (略) 第 2～第 8 (略)</p>

「大学病院と共同して臨床研修を行う臨床研修病院の特例について」の一部改正に係る新旧対照表

新		旧	
様式 1		様式 1	
臨床研修病院群を構成する病院及び大学病院相互間の連携体制 (削除)		臨床研修病院群を構成する病院及び大学病院相互間の連携体制-1-	
(略)		(略)	
医師の往来の有無	1. 有 0. 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)	名称	二次医療圏の名称
医療機器の共同利用	1. 有 0. 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)	基幹型臨床研修病院の指定を受けようとする病院 (基幹型相当大学病院) の名称	
合同臨床病理検討会の開催	1. 有 0. 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)	協力型臨床研修病院の指定を受けようとする病院 (協力型相当大学病院) の名称及び病院施設番号	(病院施設番号: _____)
その他の診療及び臨床研修についての連携	1. 有 0. 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)	既に番号を取得している協力型臨床研修病院 (協力型相当大学病院) については病院施設番号を記入してください。	(略)
		(略)	(略)
		(略)	(略)
		(略)	(略)
		(略)	(略)
		(略)	(略)
		医師の往来の有無	1. 有 0. 無 (いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。)
*記入しないこと		臨床研修病院群を構成する関係施設相互間の連携体制-2-	
(削除)		(略)	
様式 2		様式 2	
大学病院概況表 - 1 -		大学病院概況表 - 1 -	
(略)		(略)	
大学病院概況表 - 2 -		大学病院概況表 - 2 -	
(略)		(略)	
	※		※
9. (略)	(略)	9. (略)	(略)
10. 診療科名	標ぼう診療科 (番号に○をつけてください。)	10. 診療科名	標ぼう診療科 (番号に○をつけてください。)

(基幹型・協力型記入) 当該大学病院の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。	1. 内科 2. 呼吸器内科 3. 循環器内科 4. 消化器内科 5. 気管食道内科 6. 神経内科 7. 心療内科 8. 性感染症内科 9. 外科 10. 呼吸器外科 11. 心臓血管外科 12. 消化器外科 13. 小児外科 14. 気管食道外科 15. 肛門外科 16. 整形外科 17. 脳神経外科 18. 形成外科 19. 美容外科 20. 精神科 21. アレルギー科 22. リウマチ科 23. 小児科 24. 皮膚科 25. 泌尿器科 26. 産婦人科 27. 産科 28. 婦人科 29. 眼科 30. 耳鼻いんこう科 31. リハビリテーション科 32. 放射線科 33. 病理診断科 34. 臨床検査科 35. 救急科 99. その他 ((削除)次に記入してください。)
	901 科 902 科 903 科 904 科
	1 1. (略)
	1 2. 医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)(基幹型・協力型記入) 1. 一般: _____ 床、2. 精神: _____ 床、3. 感染症: _____ 床 4. 結核: _____ 床、5. 療養: _____ 床、(削除)
1 3. (略)	
1 4. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入)(基幹型・協力型記入) 1. 一般: _____ 日、2. 精神: _____ 日、3. 感染症: _____ 日 4. 結核: _____ 日、5. 療養: _____ 日、(削除)	
1 5~1 8. (略) (基幹型・協力型記入)	

大学病院概況表- 3 -

(略)

1 9~2 2. (略)	(略)
2 3. 精神保健福祉士、作業療法士その他 診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入)	1・2 (略)
	3. 臨床心理技術者: _____ 名(常勤: _____ 名、非常勤: _____ 名)

(基幹型・協力型記入) 当該大学病院の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、標ぼう診療科以外の診療科を有する場合は「99.その他」欄に記入すること。	1. 内科 2. 心療内科 3. 精神科 4. 神経科(神経内科) 5. 呼吸器科 6. 消化器科(胃腸科) 7. 循環器科 8. アレルギー科 9. リウマチ科 10. 小児科 11. 外科 12. 整形外科 13. 形成外科 14. 美容外科 15. 脳神経外科 16. 呼吸器外科 17. 心臓血管外科 18. 小児外科 19. 皮膚泌尿器科(20. 皮膚科 21. 泌尿器科) 22. 性病科 23. こう門科 24. 産婦人科(25. 産科 26. 婦人科) 27. 眼科 28. 耳鼻いんこう科 29. 気管食道科 30. リハビリテーション科 31. 放射線科 99. その他 (標ぼう診療科以外は、次に記入してください。)
	901 科 902 科 903 科 904 科
	1 1. (略)
	1 2. 医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)(基幹型・協力型記入) 1. 一般: _____ 床、2. 精神: _____ 床、3. 感染症: _____ 床 4. 結核: _____ 床、5. 療養: _____ 床、9. その他: _____ 床
1 3. (略)	
1 4. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入)(基幹型・協力型記入) 1. 一般: _____ 日、2. 精神: _____ 日、3. 感染症: _____ 日 4. 結核: _____ 日、5. 療養: _____ 日、9. その他: _____ 日	
1 5~1 8. (略) (基幹型・協力型記入)	

大学病院概況表- 3 -

(略)

1 9~2 2. (略)	(略)
2 3. 精神保健福祉士、作業療法士その他 診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入)	1・2 (略)
	3. 臨床心理技術者: _____ 名(常勤: _____ 名、非常勤: _____ 名)

都道府県	次医療圏			都道府県	医療圏	・ 削除							都道府県	医療圏	・ 削除																																																																

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

※ (略)

※ (削除)

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力施設となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修協力施設を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ (略)

1.3. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

区分	内科	救急部門	外科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	精神科	病院で定め		その他の研		合
								た必修科目		修を行う診		
								の診療科		療科		

別紙 2

(略)

県		除																																																																																																						

(略)

※ (略)

※ 「基幹型病院所在都道府県」欄には、基幹型病院の所在する都道府県名を記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の名称をそれぞれの「名称」欄に記入した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力施設となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修協力施設を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ (略)

1.3. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

区分	内科	外科	救急部門	小児科	産婦人科	又は	精神科	その他の研修を			合
								行う診療科			

別紙 2

(略)

																産科	婦人科												
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数																													
年間新外来患者数																													
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数																													
平均在院日数																													
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)																													

																														産科	婦人科														
年間入院患者実数 () 内は救急件数 又は分娩件数																																													
年間新外来患者数																																													
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数																																													
平均在院日数																																													
常勤医師数 (うち臨床研修指 導医(指導医) 数)																																													

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「その他の研修を行う診療科」欄が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器科、消化器科、循環器科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

2 4. 研修プログラムの名称及び概要

(略)

1～4 (略)	(略)
5. 臨床研修を行う分野	(略)
(略)	(略)
(略)	(略)
備考：選択必修科目・・・〇つの診療科の中から〇つ以上を必ず選択 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇か月 ※最低 8 か月以上必要であるが、 地域医療との関係等に配慮しつつ、1年以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇か月 ※合計 3 か月以内であること。ただし、 へき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでない。 2年間を通じての救急部門の研修とみなす休日・夜間の当直回数・・・約〇〇回	

※外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科については病院で定めた必修科目か選択必修科目の欄に必ず設け、記入すること。

(略)

別紙 4
(No.)

2 6. 臨床研修指導医 (指導医) 等の氏名等 (略)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	(削除)		プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
							(削除)	(削除)		

※ 「担当分野」欄には、様式 2 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理 (CPC) を記入すること。

※ (略)

※ (略)

※ (略)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医 (指導医) については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること (プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医 (指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年 (8 4月) 以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ (略)

様式 3・4 (略)

2 4. 研修プログラムの名称及び概要

(略)

1～4 (略)	(略)
5. 臨床研修を行う分野	(略)
(略)	(略)
(略)	(略)
備考：選択必修科目・・・〇つの診療科の中から〇つ以上を必ず選択 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇か月 ※最低 8 か月以上必要 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇か月 ※合計 3 か月以内であること。ただし、 へき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでない。 2年間を通じての救急部門の研修とみなす休日・夜間の当直回数・・・約〇〇回	

※外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科の欄は病院で定めた必修科目か選択必修科目の欄に必ず設け、記入すること。

(略)

別紙 4
(No.)

2 6. 臨床研修指導医 (指導医) 等の氏名等 (略)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	医籍登録		プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
							番号	年月日		

※ (略)

※ (略)

※ (略)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医 (指導医) については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること (プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医 (指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ (略)

様式 3・4 (略)

大学病院概況表（変更等記載用）－1－

平成 年 月 日

1. 基幹型相当大学病院 2. 協力型相当大学病院（大学病院の型の番号に○をつけてください。）

1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設（研修プログラムを変更する場合には1に、研修プログラムを新設する場合には2に○をつけてください。）

- ・大学病院概況表（変更等記載用）－1－から－5－まで及び別紙1については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・項目番号1から25までについては、年次情報提供において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入してください。

(略)

大学病院概況表（変更等記載用）－2－

(略)

	※	
9・10 (略)		(略)
11. 医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。) (基幹型・協力型記入)		1. 一般：_____床、2. 精神：_____床、3. 感染症：_____床 4. 結核：_____床、5. 療養：_____床、(削除)
12 (略)		(略)
13. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入) (基幹型・協力型記入)		1. 一般：_____日、2. 精神：_____日、3. 感染症：_____日 4. 結核：_____日、5. 療養：_____日、(削除)
14～17 (略)		(略)

(略)

大学病院概況表（変更等記載用）－1－

平成 年 月 日

1. 基幹型相当大学病院 2. 協力型相当大学病院（大学病院の型の番号に○をつけてください。）

1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設（研修プログラムを変更する場合には1に、研修プログラムを新設する場合には2に○をつけてください。）

- ・大学病院概況表（変更等記載用）－1－から－5－まで及び別紙1については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・項目番号1から24までについては、年次情報提供において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号25から33までについても記入してください。

(略)

大学病院概況表（変更等記載用）－2－

(略)

	※	
9・10 (略)		(略)
11. 医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。) (基幹型・協力型記入)		1. 一般：_____床、2. 精神：_____床、3. 感染症：_____床 4. 結核：_____床、5. 療養：_____床、9. その他：_____床
12 (略)		(略)
13. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入) (基幹型・協力型記入)		1. 一般：_____日、2. 精神：_____日、3. 感染症：_____日 4. 結核：_____日、5. 療養：_____日、9. その他：_____日
14～17 (略)		(略)

(略)

大学病院概況表（変更等記載用）－ 4 －

(略)

項目 25 までについては、情報提供時に必ず記入してください。	※	
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1・2 (略) 3. 臨床心理技術者: 名(常勤: 名、非常勤: 名) 9 (略)
25. 第三者評価の受審状況 (基幹型記入)		1. 有 (評価実施機関名: (年 月 日)) 0. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
26. ～ 28. (略)		(略)
29. 臨床研修指導医(指導医)の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院(協力型相当大学病院)に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		* 別紙3に記入

大学病院概況表（変更等記載用）－ 5 －

(略)

30. ～ 35. (略)		(略)
---------------	--	-----

(略)

大学病院概況表（変更等記載用）－ 4 －

(略)

項目 24 までについては、情報提供時に必ず記入してください。	※	
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1・2 (略) 3. 臨床心理技術士: 名(常勤: 名、非常勤: 名) 9 (略)
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
25. ～ 27. (略)		(略)
28. 臨床研修指導医(指導医)の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医(協力型臨床研修病院(協力型相当大学病院)及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修指導医を含む。)について氏名等を記入してください。		* 別紙3に記入

大学病院概況表（変更等記載用）－ 5 －

(略)

29. ～ 34. (略)		(略)
---------------	--	-----

(略)

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(平成 年度開催回数 回)
(略)

7. 病院群の構成等
(略) 別表

(削除)	基幹型病院				協力型病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
	所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	(略)	(略)

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設(病院又は診療所に限る)が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ※ (略)
- ※ (削除)
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設(今回の届出により削除しようとするものを含む。)の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力施設となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修協力施設を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追

6. 研修管理委員会(平成 年度開催回数 回)
(略)

7. 病院群の構成等
(略) 別表

基幹型病院	基幹型病院		協力型病院		臨床研修協力施設		研修プログラム	
	名称	新規	追加・削除	名称	新規	追加・削除	名称	新規
所在都道府県							(略)	(略)

- ※ (略)
- ※ 「基幹型病院所在都道府県」欄には、基幹型病院の所在する都道府県名を記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設(今回の届出により削除しようとするものを含む。)の名称をそれぞれの「名称」欄に記入した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力施設となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修協力施設を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

加」又は「削除」を記入すること。

※ (略)

別紙2

1 2. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

(略)

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定め た必修科目 の診療科				その他の研 修を行う診 療科		合 計						
							産 科	婦 人 科														
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分 娩件数																						
年間新外来患者数																						
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日 数																						
平均在院日数																						
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)																						

※ 「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修

※ (略)

別紙2

1 2. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

(略)

区 分	内 科	外 科	救急部門	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	その他の研修を行う 診療科				合 計						
						産 科	婦 人 科												
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分 娩件数																			
年間新外来患者数																			
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日 数																			
平均在院日数																			
常勤医師数 (うち臨床研修指 導医(指導医) 数)																			

※ 「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「その他の研修を行う診療科」欄が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、9. の救急医療の実績の前年度の件数及び13. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器科、消化器科、循環器科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目

科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※基幹型相当大学病院においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

(略)

別紙3

(No.)

28. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (略)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会等の 受講経験 有:○ 無:×	資格 等	(削除)		プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
							(削除)	(削除)		

※ 「担当分野」欄には、様式5別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ (略)

※ (略)

※ (略)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

*研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

*臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ (略)

29. 研修プログラムの名称及び概要

別紙4

(略)

1~4 (略)	(略)
5. 臨床研修を行う分野	(略)
(略)	(略)
(略)	(略)
備考: 選択必修科目・・・○つの診療科の中から○つ以上を必ず選択 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低○か月 ※最低8か月以上必要であるが、 地域医療との関係等に配慮しつつ、1年以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大○か月 ※合計3か月以内であること。ただし、 へき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでない。 2年間を通じての救急部門の研修とみなす休日・夜間の当直回数・・・約○○回	

の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

(略)

別紙3

(No.)

28. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (略)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会等の 受講経験 有:○ 無:×	資格 等	医籍登録		プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
							番号	年 且 且		

※ (略)

※ (略)

※ (略)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

*研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

*臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ (略)

29. 研修プログラムの名称及び概要

別紙4

(略)

1~4 (略)	(略)
5. 臨床研修を行う分野	(略)
(略)	(略)
(略)	(略)
備考: 選択必修科目・・・○つの診療科の中から○つ以上を必ず選択 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低○か月 ※最低8か月以上必要 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大○か月 ※合計3か月以内であること。ただし、 へき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでない。 2年間を通じての救急部門の研修とみなす休日・夜間の当直回数・・・約○○回	

※外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科の欄は病院で定めた必修科目か選択必修科目の欄に必ず設け、